

問 手話リンクの今年度中の導入可能性は

答 実現可能性を検証する

問 聴覚や発話に困難がある人ときこえる人との間の会話を電話で即時双方向につなげることができ「電話リレーサービス」の本村における周知方法および利用促進に向けた取り組みの現状は。

答 村ホームページでの掲載、窓口でのリフレット設置、ポスター掲示を行っている。

問 電話リレーサービスには手話による通訳だけでなく文字変換の機能もあり、365日24時間使用可能であるが、利用においては事前登録が必要である。さらなる理解促進の取



光風会
むらかみ しほ保 議員



来村した東京2025デフリンピック
(11月開催)のキャラバンカー

問 ホームページにリンクを貼ることで事前登録なしで電話リレーサービスを利用し問い合わせができる「手話リンク」を今年度中に村ホームページに導入してはどうか。

答 先進事例の調査研究を進め、当事者の意見をしっかりと伺い、実現可能性を検証する。

問 聴覚や発話に困難がある方とその家族、ボランティアの支援者や支援団体を対象に機会を捉えて説明会を行いたい。

問 指定難病関節リウマチ見舞金の増額を

答 患者見舞金の増額は慎重な検討が必要

問 指定難病患者と関節リウマチ患者への見舞金について伺う。

答 見舞金は、臨床調査個人票の作成費用や医療費自己負担等の一部に充当してもらうため、近隣自治体の事例を参考に、年1万5千円を支給している。令和6年度は指定難病患者191人と関節リウマチ患者159人の合計350人に525万円を支給した。

また、総合相談支援課の窓口に来訪する申請患者の負担軽減策として、令和5年



公明党
おかざき さとる 議員



保健所が発行する
指定難病特定医療費受給者証

度から電子申請を推奨し、ひたひたなか保健所が発行する指定難病特定医療費受給者証と本人の銀行口座、身分証明書を準備し、パソコンやスマホで申請手続きが可能。申請の意志のある方には情報が届くよう丁寧な周知を図っている。

問 コロナ禍の物価高騰を考慮して、見舞金の見直しを求める。美浦村の見舞金額は年3万6千円である。

答 本村は指定難病に加え、関節リウマチ患者を対象に見舞金支給をしている。他の助成金と総合的に勘案し、慎重な検討が必要。